

2017年5月11日

パキスタンからアフガニスタンへ、62万人が帰還
— いま、誰もが注目しない深刻な人道危機が、静かに訪れている —

5月18日（木）緊急人道支援・活動報告会開催

発表者：ハミードラ・ハミッド / JENアフガニスタン プロジェクトマネジャー

特定非営利活動法人 JEN（ジェン、本部：東京都）は、2017年5月18日（木）、アフガニスタン人職員の来日に合わせ、緊急報告会を開催します。

2016年から2017年1月末の一年間で、62万人*1以上のアフガニスタン難民がパキスタンから祖国であるアフガニスタンに帰還しました。JENはジャララバード周辺に帰還した人びと1,000世帯を対象に、毛布や貯水タンク、衛生用品等の生活用品を配布しています。今回の報告会では、本事業を統括する同国出身の職員の来日に合わせ、アフガニスタンの現状とJENを含む国際社会の対応、課題について、現地の最新情報を報告いたします。

(*1 出典：UNOCHA Afghanistan: Refugee Crisis Situation Report No. 6 / as of 29 January 2017)

世界の難民状況 現在、紛争・迫害や人権侵害などにより、避難を余儀なくされている人びとの数は全世界で6,530万人にものぼり、そのうち難民の数は2,130万人で、アフガニスタン難民の数は、シリア難民の490万人に次いで第2位、270万人とされています。*2 (*2 出典：UNHCR / as of Dec 2015)

アフガニスタン難民の現状 アフガニスタンでの紛争の影響で、'80年代より200万人を超える人びとがパキスタンに逃れました。中には、長年の避難生活の中でパキスタンに基盤を築いた人や、パキスタンで生まれ育った人も多く存在します。一方、'16年以降、パキスタンとの政治的緊張により、アフガン難民は帰還を余儀なくされており、その数は62万人を超えました。いまだ復興途中の祖国アフガニスタンでは、急増する帰還民への受け入れ対応が間に合わない緊急事態が発生しています。JENは、今回の人道危機に際し、帰還民の中でも最も支援が届きにくい地域や人で緊急支援を行っています。

JENアフガニスタン活動報告会 緊急支援活動報告会
— いま、誰もが注目しない深刻な人道危機が、静かに訪れている —

- 発表者： ハミードラ・ハミッド / JENアフガニスタン プロジェクトマネジャー
(使用言語：英語、逐次通訳あり)
- 日時： 5月18日（木）18:30～20:30
- 会場： JEN東京本部事務局（東京都新宿区揚場町2-16 第二東文堂ビル7階）
- 最寄駅： JR、東京メトロ、都営地下鉄「飯田橋」駅より徒歩5分
- 定員： 20名
- 資料代： 500円
- お申し込み： 電話またはお問い合わせフォームで、
氏名、メールアドレス、電話番号をお知らせください。

Tel : 03-5225-9352 フォーム : <https://www.jen-npo.org/jp/contact/form>

特定非営利活動法人ジェン (JEN) について

1994年1月に旧ユーゴスラビア地域における緊急支援のために設立。以来、「生きる力、を支えていく。」をモットーに、一貫して、現地の人びとの力を活かした「自立支援」を実施。世界各地で紛争や自然災害などにより厳しい状況にある人びとへ、緊急から復興の各段階できめ細やかな支援活動を行っている。2000年には、NPO法人格を取得。2005年には「認定特定非営利活動法人（認定NPO）」として認定される。2017年5月現在、アフガニスタン、イラク、スリランカ、パキスタン、東北、ヨルダン（シリア難民支援）、熊本で支援活動を継続中。2010年外務大臣表彰受賞。本部：東京都新宿区

登壇者プロフィール

- ハミードラ・ハミッド**（JENアフガニスタン カブール事務所 プロジェクトマネジャー）
パキスタンのハイバル・パフトゥンハー州の難民キャンプで生まれ育つ。アフガニスタンに帰国後、国際NGO、外国政府援助機関を経て、2011年よりJENで水衛生事業、防災教育、帰還民への緊急支援事業を担当。ナンガルハル大学農学部卒業。
- シル・アリ・ハビブ**（JENアフガニスタン カブール事務所 チーフエンジニア）
パキスタンのハイバル・パフトゥンハー州の難民キャンプで生まれ育つ。アフガニスタンに帰国後、国際NGO、国際機関での仕事を経て2012年よりJENで学校建設や水衛生施設のエンジニア責任者として勤務。ナンガル大学土木工学科卒業。
- アフマッド・ファヒム**（JENアフガニスタン カブール事務所 総務・経理担当）
アフガニスタン、カブール市出身。国際NGOを経て、2007年JENに入局。帰還民支援、教育支援のフィールド・オフィサーを経て、現在はカブール事務所にて総務・経理を担当。カブール大学社会科学学科卒業。
- ハリッド・ムスタファウィー**（JENアフガニスタン 情統括マネージャー）
アフガニスタン、カブール市出身国連平和維持活動、アフガニスタン政府での職務を経て、2012年よりJENで情報統括マネージャーとして勤務。パキスタン、プレストン大学経営学修士取得。
- 中嶋秀昭（なかじま・ひであき）**（グローバル事業部シニア・プログラム・オフィサー）
スリランカ北部やインドネシア・アチェなど紛争後の国・地域でNGO職員として活動。2016年3月よりNGO「JEN」グローバル事業部シニア・プログラム・オフィサーとして勤務。熊本震災被災者支援事業統括を経て同年7月、パキスタン駐在。

JENのアフガニスタンでの活動

～長引く治安の悪化。子どもたちに安全な水と安心できる学習環境を～

JENは、2001年よりアフガニスタンで緊急支援活動を行っています。当初は、干ばつにより隣国パキスタンに避難していた難民、帰還民への緊急支援として、物資配布、住宅再建などを行いました。同年末より、パルワン県にて帰還民への緊急支援として住宅再建支援を行い、その後、国の未来を担う子どもたちを対象にした教育支援活動を行っています。また、自然災害への緊急支援として、バダフシャン州大洪水（2014年）パキスタンとの国境で発生した地震への緊急支援（2015年）を行いました。